

九星気学に出てくる「125個の単語」の読み方や説明

■九星

	読み1	読み2	簡略説明
龍馬	りゅうめ	りゅうば	背に天の星を示す模様のある、黄河の中より現れた馬、模様が河図先天図となる
神亀	しんき		洛水という川の中から現れた亀、模様が洛書後天図となる
河図先天図	かとせんてんず		太陽系のなかで地球が創造される順序を数によって現したもの
洛書後天図	らくしよこうてんず		9を戴き1を履み3を左にし7を右にし2・4を肩となし6・8を足となし5は中央に居り、横・縦・斜め、何れより数うるも、その数15
象意	しょうい		易の八卦を基礎として成り立つ9つの自然現象
一白水星	いっぱくすいせい		九星の一つ「流れる水」を現す
二黒土星	じこくどせい		九星の一つ「母なる大地」を現す
三碧木星	さんぺきもくせい		九星の一つ「雷鳴」を現す
四緑木星	しろくもくせい		九星の一つ「風、空気」を現す
五黄土星	ごおうどせい		九星の一つ「生き物、万物の生滅」を現す
六白金星	ろっぱくきんせい		九星の一つ「天なる父」を現す
七赤金星	しちせききんせい		九星の一つ「湖、池」を現す
八白土星	はっぱくどせい		九星の一つ「山」を現す
九紫火星	きゅうしかせい		九星の一つ「宇宙、火」を現す
坎宮	かんきゆう		北に位置し、一白水星の象意を持つ部屋
坤宮	こんきゆう		南西に位置し、二黒土星の象意を持つ部屋
震宮	しんきゆう		東に位置し、三碧木星の象意を持つ部屋
巽宮	そんきゆう		東南に位置し、四緑木星の象意を持つ部屋
中宮	ちゆうきゆう	ちゆうぐう	中央に位置し、五黄土星の象意を持つ部屋
乾宮	けんきゆう		北西に位置し、六白金星の象意を持つ部屋
兌宮	だきゆう		西に位置し、七赤金星の象意を持つ部屋
艮宮	ごんきゆう		東北に位置し、八白土星の象意を持つ部屋
離宮	りきゆう		南に位置し、九紫火星の象意を持つ部屋
九宮	きゅうぐう		坎宮、坤宮、震宮、巽宮、中宮、乾宮、兌宮、艮宮、離宮の9つの宮
九気	きゅうき		九星それぞれのエネルギーを示す
本命星	ほんめいせい		生まれた年の中宮に巡っている星
月命星	げつめいせい		生まれた月の中宮に巡っている星
日命星	にちめいせい		生まれた日の中宮に巡っている星
定位盤	じょういばん		後天図を現す盤で九星の位置が変わらないもの
定盤	ていばん		後天図を現す盤で九星の位置が変わらないもの
年盤	ねんばん		星の巡りは毎年変わり、その年の九星配置を現したもの
月盤	げつばん		3つのグループに分類され、その月の九星配置を現す
日盤	にちばん		日の九星配置を現す
刻盤	こくばん		時間の九星配置を現す

家相盤	かそうばん		家の重心より四正・四隅を均等に45度に分けるもの
年運	ねんうん		立春から翌年の節分まで1年ごとの運勢
運勢	うんせい		そのタイミングで何をするか
遁甲	とんこう		九星が一定のリズムで循環していること
回座	かいざ		定位盤に本命星が重なること
同会	どうかい		本命星が、定位盤や年盤の宮に重なること
被同会	ひどうかい		回座している本命星に、他の星が重なってくる
蔵気	ぞうき		自分の中に隠れている才能や素質を現す
傾斜法	けいしゃほう		性格の判断
定位対冲	ていいたいちゆう		定位盤の本命星の反対を示し、ここに回座するとき運勢が開きにくくなる状態
家相	かそう		宅地や家屋の欠け張り、素材配置から吉凶を判断すること
地相	ちそう		環境や土地の形状から受ける吉凶を判断すること
土用	どよう		立春、立夏、立秋、立冬の前約18日間をいい、祐気取りが出来ない時期

■五行

五行	ごぎよう		万物は「木 火 土 金 水」の元素により成り立つ考え方
相生	そうしょう	そうじよう	相性が良いこと
相剋	そうこく		相性が悪いこと
祐気	ゆうき		吉のエネルギー
剋気	こくき		凶のエネルギー
生氣	せいき		助ける関係にある相性の良い五行
退気	たいき		助けられる関係にある相性の良い五行
比和	ひわ		同じ五行関係、仲間の関係
和気	わき		同じ五行関係、仲間の関係
死気	しき		傷つける関係にある相性の悪い五行
殺気	さつき		傷つけられる関係にある相性の悪い五行

■陰陽

陰陽	いんよう		陰は陽に交わり、陽は陰に合し万物を育成するという考え方
隠遁	いんとん		夏至に最も近い甲子の日から始まる
陽遁	ようとん		冬至に最も近い甲子の日から始まる

■方位

五黄殺	ごおうさつ		この方位に行くと腐敗作用で運が腐る
暗剣殺	あんけんさつ		この方位に行くと突然の災いが降りかかる
歳破	さいは		この方位に行くと仕事や家庭に問題が発生する
月破	げっぱ		この方位に行くと仕事や家庭に問題が発生する
本命殺	ほんめいさつ		この方位に行くと自分の才能、人生プランが破壊される

本命的殺	ほんめいてきさつ		この方位に行くくと肉体的、精神的にバランスを崩す
月命殺	げつめいさつ		この方位に行くくと自分の才能、人生プランが破壊される
月命的殺	げつめいてきさつ		この方位に行くくと肉体的、精神的にバランスを崩す
小児殺	しょうにさつ		特に4歳以下の幼児に作用がある凶方位
方位盤	ほういばん		東西南北30度、四隅60度の方位を判断する盤
磁北	じほく		地球が発する磁気を基準にして測った北
真北	まほく		北極星を基準にして測った北
偏角	へんかく		磁北と真北の角度の差
正八角形	せいはちかっけい		四正・四隅を均等に45度に分けた方位
変形八角形	へんけいはちかっけい		四正30度、四隅60度の方位
祐気取り	ゆうきどり	ゆうきどり	吉方位をとること

■十二支

十二支	じゅうにし		万物化成の順序を12年周期で現したもの
干支	かんし	えと	60を周期する十干10種と十二支12種の組み合わせ
子	ね	し	動物は鼠。犖の上部を略したもので、万物の生命をうむ意味
丑	うし	ちゅう	動物は牛。紐の糸偏を略したもので、結んで解けないという意味
寅	とら	いん	動物は虎。演のさんずいを略したもので、地上に伸び成長する意味
卯	う	ぼ	動物は兎。卯は、草木が繁茂する意味
辰	たつ	しん	動物は龍。震の雨冠を略したもので、万物が震いたつ意味
巳	み	し	動物は蛇。祀の示を略したもので、蛇が穴から出る季節、陽気の極から陰に移ろうとする意味
午	うま	ご	動物は馬。忤の立心偏を略したもので、陽気と陰気が相さからう意味
未	ひつじ	び	動物は未。味の口偏を略したもので、草木の実が形を成した意味
申	さる	しん	動物は猿。伸の人偏を略したもので、もう一伸びの意味
酉	とり	ゆう	動物は鶏。釀の右側を略したもので、生命を次代の種に秘めて静かに気を養う意味
戌	いぬ	じゅうつ	動物は犬。滅の一部を略したもので、生氣滅亡のときの意味
亥	い	がい	動物は猪。核の木編を略したもので、生命が越冬に入る意味
大歳	たいさい		十二支の方位に座し強力な吉作用をもたらす神
天道	てんどう		わざわ ふう てん きちかみ 災いを福に転じる吉神
天徳	てんとく		きょう きち きちかみ 凶を吉にかえる吉神
月徳	げつとく		わざわ おさ きち ゆうどう きちかみ 災いを抑え、吉に誘導する吉神
天徳合	てんとくごう		きょう おさ かげ ささ きちかみ 凶を抑え、陰で支える吉神
月徳合	げつとくごう		凶を抑え、陰で支える吉神
月空	げつくう		きちかみ 吉神
生忌	せいき		吉神
支合	しごう		あいしやう よ じゅうにし く あ たが たす あ かんけい 相性の良い十二支の組み合わせで互いに助け合うことができる関係
三合	さんごう		しんわかんけいなら きちほうい あいしやう じゅうにし 親和関係並びに吉方位をあらわす3つの相性の良い十二支の組み合わせ
方合	ほうごう		きせつ ほうい きんし きょうりよくかんけい 同じ季節・方位を表す三支を一組とする協力関係

沖	ちゅう		あいしょう わる じゅうにし かんけい ものごと ほかい ととの 相性の悪い十二支の関係で、物事が破壊され整わない
刑	けい		たが きず じゅうにし かんけい お互いに傷つけあう十二支の関係
破	は		じゃま じゅうにし かんけい やが 邪魔される十二支の関係で物事が破れる
害	がい		ふあんてい じゅうにし かんけい たどうてき わざわ 不安定な十二支の関係で他動的な災い

■十干

十干	じっかん		こう おつ へい てい ぼ き こう しん じん き そうしょう 甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・辛・壬・癸の総称
甲	こう	きのえ	たね なか め だ じょうたい 種の中から芽を出そうとしている状態
乙	おつ	きのと	はつが はじ 発芽し始めの状態
丙	へい	ひのえ	くさき せいちよう 草木が成長している状態
丁	てい	ひのと	草木が成長した状態
戊	ぼ	つちのえ	はんも 草木が繁茂している状態
己	き	つちのと	み 実をつけようとしている状態
庚	こう	かのえ	じゆくせい つぎ じき じゆんび 実が熟成し、次の時期にむけての準備状態
辛	しん	かのと	か あたら 草木が枯れ、新しくなろうとする状態
壬	じん	みずのえ	たね あたら せいめい はら 種のなかに新しい生命を妊む状態
癸	き	みずのと	ちちゅう あたら せいめい かたち 地中で新しい生命が形づくられている状態
干合	かんごう		あいしょう よ じっかん く あ たが たす あ かんけい 相性の良い十干の組み合わせで互いに助け合うことができる関係

■暦

二十四節気	にじゅうしせつき		りっしゆん うすい けいちつ しゆんぶん せいめい こくう 立春(2月4日頃)雨水(2月19日頃)啓蟄(3月6日頃)春分(3月21日頃)清明(4月5日頃)穀雨 (4月20日頃)立夏(5月5日頃)小満(5月21日頃)芒種(6月6日頃)夏至(6月21日頃)小暑(7 月7日頃)大暑(7月23日頃)立秋(8月7日頃)処暑(8月23日頃)白露(9月8日頃)秋分(9月23 日頃)寒露(10月8日頃)霜降(10月23日頃)立冬(11月7日頃)小雪(11月22日頃)大雪(12月 7日頃)冬至(12月22日頃)小寒(1月5日頃)大寒(1月20日頃) 以上の赤文字を正節、青文字を中気という
節分	せつぶん		りっしゆん りっか りっしゅう りつとう 立春、立夏、立秋、立冬の前日をいう。現在では年が変わる2月の立春の前日をいう場合が多い。
彼岸	ひがん		しゆんぶん しゆんぶん なかび 春分・秋分を中日とし、その前後3日を加えた7日間のことで先祖をしのぶ行事
社日	しゃにち		うぶすなかみ まつ ごこく そな ほうさく きがん 産土神を祀る日。春には五穀の種を供えて豊作を祈願し、秋にはその年の収穫に感謝する日。
六曜	ろくよう		さきがち とむびき さきまけ ぶつめつ たいあん しゃっこう よう 先勝・友引・先負・仏滅・大安・赤口の6種の曜
十二直	じゅうにちよく		こよみ ちゅうだん よ きちきょう うらな 暦では中段と呼ばれ、日々の吉凶を占うもの
二十八宿	にじゅうはっしゆく		日々の吉凶を占うもの

①

②

③



- ①九星気学ホームページ : <http://9seikigaku.web.fc2.com/>
- ②九星気学単語一覧表 : <http://9seikigaku.web.fc2.com/9sei-setumei.pdf>
- ③125単語を動画で勉強 : <http://youtu.be/XGGTJm19FzY>